

関東教育学会

The Kanto Educational Research Society

第 66 回大会
2018 年 11 月 24 日(土)

プログラム



会場 **東洋大学白山キャンパス**

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

関東教育学会第 66 回大会準備委員会

後援：文京区教育委員会・板橋区教育委員会

< 参加要項 >

1. 期日 2018年 11月24日（土） 受付9時30分開始

2. 会場 東洋大学白山キャンパス（〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20）

秋学期の授業開始後、10月中旬ごろに確定するため、今回のプログラムに教室名が未記載である点、ご了承ください。なお、会場・教室が決まり次第、学会ホームページにてお知らせいたします。また、大会当日に配布の「発表要旨集録」には記載いたします。

3. 日程

9:30 ~	受付開始
10:00 ~12:00	自由研究発表
12:10~13:30	昼休み（公開シンポジウム打ち合わせ・理事会）
13:30~14:20	総会
14:30~17:15	公開シンポジウム
17:30~19:30	懇親会（トレス・ダイニング（東洋大学8号館1F））

4. 発表要項

- 発表時間は個人研究25分（発表20分、質疑5分）、共同研究50分（発表40分、質疑10分）です。各分科会とも、発表と質疑の終了後、残り時間に応じて全体討議を行います。
- 報告者の方は「発表要旨集録」の原稿を、10月12日（金）必着でお送りください。

5. 大会参加費・懇親会参加費について

研究大会参加費・懇親会費は以下の通りです。会員は、参加当日までに今年度までの会費を完納してください。学生・院生の参加費は専任勤務機関のない学生・院生の場合に限ります。

参加費		大会参加費	懇親会
会 員	一般	3,000円	5,000円
	大学院生	1,500円	3,000円
臨時会員		3,000円	5,000円

6. 昼食等について

6号館地下、3号館地下、8号館地下にそれぞれ学生食堂がありますのでご利用ください。また、大学近隣にもコンビニがございます。お弁当持参の方やコンビニ等で購入した方は、会員控室または各分科会場でおとりください。ゴミは学内のゴミ箱までお願いします。

敷地内での喫煙は指定場所をお願い致します。受付でご案内いたします。大学内での指定場所以外はすべて全面禁煙となっておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

アクセス

- 都営地下鉄三田線「白山」駅A3出口から正門・南門徒歩5分、A1出口から西門徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口から「正門・南門」徒歩5分

↓ 東洋大HP 交通アクセス（白山キャンパス）から



大会事務局（連絡先）

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学 文学部教育学科 須田将司研究室 内

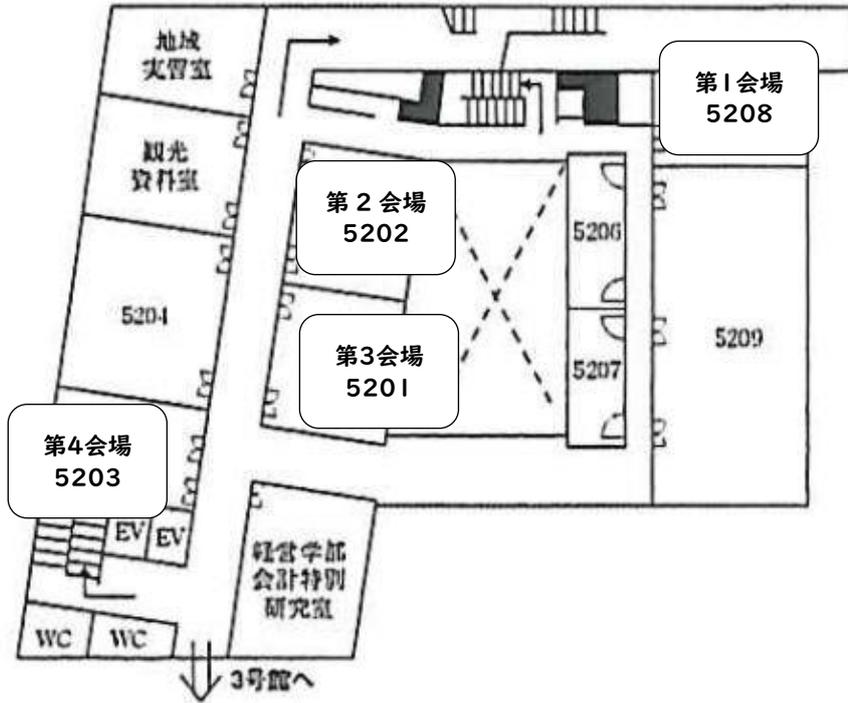
関東教育学会 第66回大会準備委員会事務局

大会専用E-mail: kanto66toyo@gmail.com

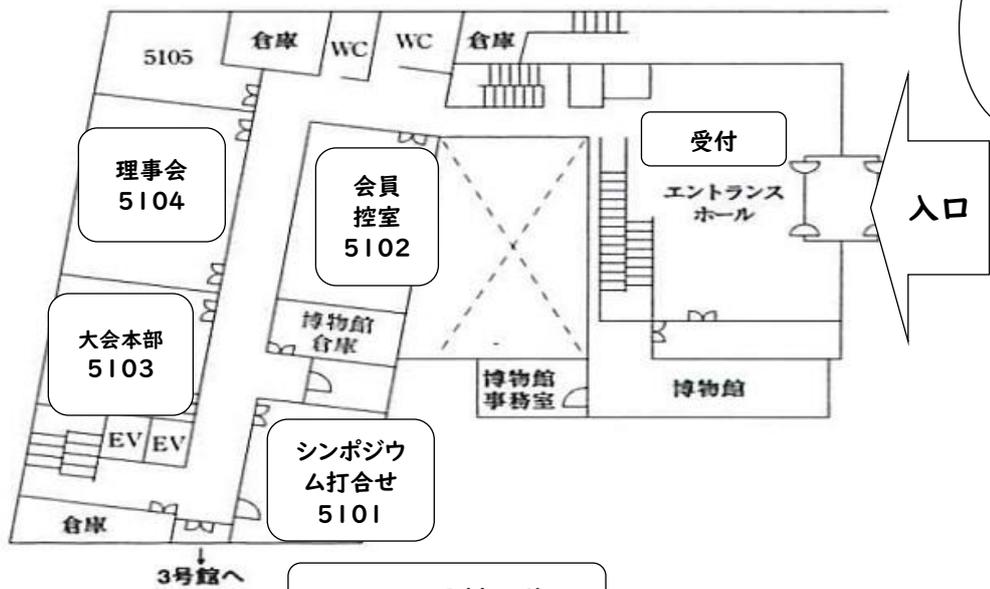
電話： 03-3945-7378（研究室:なるべく電子メールでご連絡ください）

< 会場決定のお知らせ >

5号館 受付・発表会場・公開シンポジウム打合せ・理事会



↑ 5号館2階



↑ 5号館1階

8号館 公開シンポジウム (8B11 教室)・懇親会 (アクセス図および当日案内を参照ください)



第1会場 教育哲学・教育理論

司会： 佐藤隆之（早稲田大学）・山口理沙（聖セシリア女子短期大学）

- (1) 10:00 教育学的視座から身体の価値を問い直す
—体育科教育のあり方の再検討—
山口 裕貴（桜美林大学）
- (2) 10:25 天野貞祐の道德教育観における愛国心のとらえ方についての一考察
（『国民実践要領』における天皇についての記述を中心に）
長谷川 真行（早稲田大学大学院教育学研究科博士課程後期）
- (3) 10:50 教師の実践的知識としての児童生徒に関する知識の位置
—英米における教師知識研究を手掛かりに—
藤井 真吾（筑波大学大学院）
- (4) 11:15 素人教養論争再考
—ヴァイマル期ドイツにおける教養の位置価
松井 健人（東京大学大学院教育学研究科博士課程）
- 11:40～12:00 全体討論

第2会場 教育史

司会： 野口穂高（早稲田大学）・須田将司（東洋大学）

- (5) 10:00 大正期の神道系私立高等教育機関の大学「昇格」に関する一考察
（「昇格」に至るまでの教育理念・教育内容の変化を中心に）
雨宮 和輝（早稲田大学大学院）
- (6) 10:25 桑原正雄の子どもを中心とした郷土教育論の模索
—「子どもを中心とした学び」と「郷土」との融合に着目して—
木下 純（東洋大学大学院・院生）
- (7) 10:50 戦後の教育改革における幼保一元化をめぐる一考察
—坂本彦太郎を中心に—
阿部 アサミ（東京保育専門学校）
- (8) 11:15 東井義雄の「教科の論理」における指導法に関する研究
齋藤 義雄（東京家政学院大学）
- 11:40～12:00 全体討論

第3会場 幼児教育

司会： 江津 和也（淑徳大学）・板橋雅則（東洋大学）

- (9) 10:00 中国人の近代的幼児教育への着目
—清朝末期の日本視察記録から—
聶 晶晶（早稲田大学教育学研究科）
- (10) 10:25 保育者のアイデンティティ形成に関する研究（1）
張 そう（東洋大学大学院文学研究科教育学専攻）
- (11) 10:50 保育内容「言葉」の視点から捉える子どもの育ちの理解
桃枝 智子（淑徳大学総合福祉学部）
- (12) 11:15 子どもの自主的な遊びを中心とした保育に関する研究
-「りんごの木」子どもクラブの保育を通して-
陳 思婷（東洋大学大学院教育学専攻）
- 11:40～12:00 全体討論

第4会場 カリキュラム

司会： 根津朋実（筑波大学）・勝田光（東洋大学）

- (13) 10:00 米国ラーニング・コミュニティ論の展開と日本への示唆
間篠 剛留（日本大学）
- (14) 10:25 素質教育の教育目標観に対応した中国の高校入試改革
周 珏（早稲田大学教育学研究科）
- (15) 10:50 初等教育における学級担任制とカリキュラムデザインに関する一考察
緩利 真奈美（東京農業大学教職課程）
- (16) 11:15 「教育への勇気」は何を批判し、何が批判されたのか
——ドイツの80年代カリキュラム改革の方向づけとしての教育的教授
牛田 伸一（創価大学）
- 11:40～12:00 全体討論

【「主体的・対話的で深い学び」－深い学びをどう創るか－】

【公開シンポジウム企画の趣旨】

新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が強調されている。グローバル化・IT化、知識基盤社会の現在において、こうした授業改善が求められる理由は何なのか。「主体的・対話的で深い学び」で言う「深さ」とは何なのか。深い学びの授業時間をどのように生み出すのか。学校現場で適用するためには論点整理が必要だと考える。そこで、この課題を具体的な実践を踏まえながら、研究者、実践者と共に考え、討論を行うことにする。

シンポジスト

田中統治(放送大学)

九州大学大学院博士課程教育学研究科単位取得退学、博士(教育学)。放送大学教授(筑波大学名誉教授)。専攻は教育組織社会学・カリキュラム。編著に『カリキュラム評価入門』(勁草書房 2009年)『批判的教育学事典』(明石書店 2017年)、新教職教育講座第3巻『学校教育のカリキュラムと方法』(協同出版 2013年)、筑波大学附属フォーラム第1巻『リーダー教育』(東洋館出版社 2011年)等がある。

小林宏己(早稲田大学)

東京学芸大学大学院修了。東京都公立小学校及び東京学芸大学附属小学校教諭、東京学芸大学助教授及び教授を経て、早稲田大学教育・総合科学学術院教授。研究キーワードは教育方法、授業研究、教師教育、社会科教育、生活科教育、総合学習。「授業づくり」『教育基本用語 2011-2012』所収(小学館 2011年)、「総合的な学習の時間の原理と方法」『最新教育原理』所収(勁草書房 2010年)

田村 学(國學院大學)

新潟県公立小学校及び上越教育大学附属小学校教諭、柏崎市教委指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官を経て、2017年より國學院大學人間開発学部教授(文部科学省視学委員)。専門は生活科教育学、総合的な学習の時間、教育方法学、カリキュラム論。『深い学び』(東洋館出版社 2018年)、『授業を磨く』(東洋館出版社 2015年)

話題提供者

青木照明(元茅ヶ崎市立小学校長)

神奈川県茅ヶ崎市で小学校教諭、横浜国立大学附属鎌倉小学校教諭、教育委員会指導主事、校長を歴任。定年退職後、横浜国立大学非常勤講師、同市教育委員会委員長を務める傍ら、小学校国語文学教材の授業を茅ヶ崎市の小学校で「授業行脚」として30年間実施し、垣内松三の「自証体系」の授業方法論「深層読み」を確立した。主著は『言霊が実現する瞑想読み』(文芸社 2011年)。瑞宝双光章を叙勲している。

司会 下田好行(東洋大学)

樋口直宏(筑波大学)

関東教育学会第66回大会 プログラム

2018 年 11 月 24 日 於東洋大学白山キャンパス

関東教育学会第 66 回大会準備委員会

委員長：下田好行

委員：須田将司、板橋雅則、勝田光、国谷直己